

教職員 各位

## 平成 26 年度 大分大学全学研究推進機構 テニュアトラックプログラムセミナー

演題：高解像度 RNA 制御を介した神経系細胞機能の解析

講師：新潟大学大学院・医歯学総合研究科・神経生物解剖学分野  
矢野 真人 准教授

開催日時：平成 27 年 3 月 23 日（月） 16:30 - 18:00

開催場所：卒後臨床研修センター 1 階 セミナー室

### 概要：

RNA 発現を制御する RNA 結合性蛋白質は、ほぼ全ての生命現象に関わる分子であるが、特に脳などの高次機能や疾患の原因、標的として深い関わりが明らかにされつつある。我々は、これまで発生期の脳内で働く RNA 結合蛋白質群に着目し、その RNA 動態と生物学的意義の解明を目指して研究を行って来た。その過程で神経特異的 RNA 結合蛋白質 Nova2 が大脳皮質形成期の神経細胞移動の制御を行い、リーリンシグナル経路の重要な因子 disabled-1 の RNA スイッチ制御を介している事を明らかにしてきた。特に本セミナーでは、神経系 RNA 結合蛋白質群の機能解析について、最近、我々の進めている RNA 制御解析の研究戦略である *in vivo* 蛋白質-RNA 相互作用解析 HITS-CLIP といった種々の *in vivo* フットプリンティング技術とマウス遺伝学を用いた高解像度解析に焦点をあてて紹介したい。

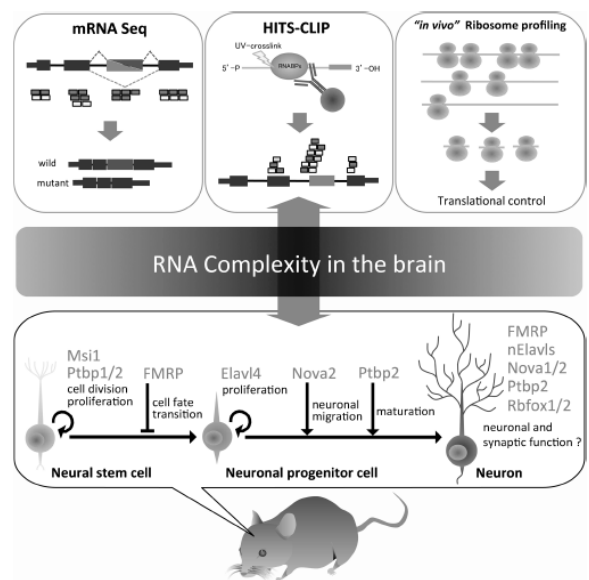
矢野先生は世界で初めて HITS-CLIP 法を開発したロックフェラー大の Bob Darnell 教授の研究室に留学され、CLIP 法を用いた RNA 結合性蛋白質の標的 RNA の網羅的解析を可能としている数少ない研究者の一人です。今回の発表では、次世代シーケンサーを用いた解析などもご講演頂く予定です。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

#### [参考文献]

Yano et al., *CTR*. 2015

Licaltosi et al., *Genes & Development*. 2012

Yano et al., *Neuron* 2010



Yano et al., *CTR* (2015) より転載

セミナーに関するお問い合わせ：テニュアトラック教員 徳永暁憲（内線）6201